

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑬

2020年7月26日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

コロナを改憲に利用するな！ 発議するな！ 憲法生かし、いのちと暮らしを守ろう！

全国市民アクション・総がかり行動実行委員会が宣伝・署名行動

安倍9条改憲NO！全国市民アクションと戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は梅雨空の7月6日、新宿駅西口で月例の合同宣伝・署名行動を取り組み、安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名を訴えました。

行動には、マイクで訴える人、横断幕を持つ人、署名を呼びかける人、プラカードを掲げアピールする人、遠巻きにしてじっと最後まで立ち尽くす人など42人が参加。寄せられた改憲発議反対署名は27人分でした。

マイクを握った戦争をさせない1000人委員会、憲法9条壊すな！実行委員会、憲法共同センターのメンバーは口々に、新型コロナや災害対策を口実にして、緊急事態条項を憲法に書き込もうとする動きを批判、憲法を生かす政治こそ求められており、政府は緊急の対策や支援に本気で取り組む責任を果たせと訴えました。

次回の同行動は、8月13日18時から新宿駅西口で行われます。



7月6日新宿駅西口（写真提供＝憲法共同センター・及川昇さん）

総がかり行動・全国市民アクションが7・19議員会館前行動 野党議員と市民900人が結集

臨時国会直ちに開け！敵基地攻撃は憲法違反！安倍改憲発議許すな！安倍政権退陣！をかけた集会在7月19日、議員会館前で開催されました。呼びかけは戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO！全国市民アクション。市民や野党議員900人が参加しました。午後3時からの集会は、コロナ禍の下、「密」を避け衆議院第二議員会館を中心に第一議員会館、参議院議員会館から国会図書館前まで広がって行われ、コールや歌唱はありませんでした。

藤本泰成さん（総がかり行動共同代表・1000人委員会）が主催者あいさつしました。野党から、福島瑞穂（社民党）、田村智子（日本共産党）、白眞勲（立憲民主党）の各参議院議員があいさつ（発言順）、市民団体からは、改憲問題対策法律家6団体連絡会の大江弁護士、憲法骨抜きNO！ねりまの横山さん、止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会の毛利さんがスピーチを行いました。行動提起は木下興さん（憲法共同センター）、司会は菱山南帆子さん（憲法9条壊すな！実行委員会）。

全国市民アクションが「訴え」発表 改憲発議反対全国緊急署名を継続、取り組み強め安倍9条改憲 にピリオドを！

安倍9条改憲NO！全国市民アクション9条壊すな！総がかり行動実行委員会は7月15日、別項のような「訴え」—『改憲発議反対全国緊急署名』の継続で、安倍9条改憲に終止符を！—コロナ禍のもと、工夫と努力の全国の活動に連帯し学び合っ

て」を発表しました。改憲発議反対署名の継続・推進で安倍改憲の策動にピリオドを打とうと呼びかけました。6月に約27万人分の同署名を国会に提出しましたが、コロナ禍の下で、その後の運動の方向を示したものです。

(全文は下記。ホームページのトップにも掲載)

<訴え>「改憲発議反対全国緊急署名」の継続で、安倍9条改憲に終止符を！ —コロナ禍のもと、工夫と努力の全国の活動に連帯し学びあって—

2020年7月15日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」は継続しています。署名運動をさらに強めましょう。秋以降の国会に提出し、安倍政権の改憲の野望にピリオドを打ち、あらゆる改憲を許さない世論をつくりましょう。

「改憲発議に反対する全国緊急署名」運動は、コロナ禍の中で、街頭でも地域でも職場でも、「3密」に配慮し、フィジカル（物理的）ディスタンスを確保するなどさまざまな工夫と努力をこらした多様な活動が全国各地で繰り広げられています。また休止状態から再開・回復して活動を展開しているところも次つぎとあらわれています。各地で、署名と結んで憲法をコロナ対策に生かせと運動しているところも生まれています。こうした署名運動の全国各地の経験や決意を学びあい、連帯しあって継続して取り組むことを呼びかけます。

安倍改憲に反対するみなさん

2017年5月、安倍首相が9条改憲の号令をかけ、翌年には自民党が4項目の改憲案を決めました。安倍首相はことあるごとに改憲の意欲を語り、最近では橋下徹氏のネット番組で「自民党総裁の任期は1年3カ月ある。何とか任期中に国民投票までいきたい」と述べる（6月20日）など、いまだに発議の執念を示しています。改憲勢力は、安倍首相に呼応して憲法審査会を開催し、改憲の道筋をつけようとしてきました。ところが市民と野党の共闘で、6月17日に終わった通常国会まで5つの国会を経ても改憲案の提示はおろか、改憲の呼び水である与党提出の国民投票法「改正」案の審議すらも許しませんでした。

これは、憲法「改正」問題は緊急の政治課題ではないという広範な世論が、コロナ禍のもとで「なぜ今改憲を急ぐのか」「コロナに乗じた改憲などおかしい」と、一層高まったことを背景にしています。そして、「改憲発議反対署名」は、6月に閉会した通常国会で27万人分を提出し、「3000万人署名」はこれまでの累計で1010万人分を提出しました。

これらの署名運動が安倍首相や改憲勢力の思いどおりにさせなかったのです。

安倍改憲に反対するみなさん

憲法を生かしてこそ、コロナ危機から私たちの命と暮らしが守られることも、9条に反し、税金の浪費に他ならない武器の爆買いがコロナ対策にならないことも、そして声をあげてこそコロナ対策に要求が反映されることなど、日々の実体験で確信してきました。

「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を継続して取り組み、秋以降の国会への提出をめざしましょう。

安倍改憲に痛打を与え、自民党が検討を開始した「敵基地攻撃能力の保有」が、憲法違反であり、これまでの9条解釈をも投げ捨てた到底許されない解釈改憲の極みであることを明らかにしましょう。来るべき衆議院総選挙で野党の勝利に貢献し、安倍政権による改憲発議の策動に審判を下そうではありませんか。

改憲発議反対署名、各地の取り組みから

北海道 改憲反対署名 50 万を目標に当面の行動を意思統一

北海道憲法共同センターは 7 月 21 日、運営委員団体会議を開き、秋の予定している総会にむけた方針を意思統一しました。

会議では、コロナ感染拡大のもとで、「今だからこそ憲法を守り生かそう」「軍備拡大より病院を」「憲法が生きる政治への転換を」をかかげ、参加各団体が取り組んできた待ったなしの命と暮らしを守る活動を交流しました。

改憲発議反対署名が現在約 3 万人の到達であることをふまえ、「当面 10 万の突破、早急に 50 万」の目標を確認。行動をすすめるために、全国市民アクションの動画「おしえて憲ポップちゃん」(Youtube・ビデオ版)やオンライン憲法集会(5・3集会)(Youtube・ビデオ版)、憲法共同センターの「コロナ入り憲法リーフ」の活用、職場・地域での学習・署名行動と集約の推進などを呼びかけました。

また、11 月 3 日には憲法集会の開催検討が申し合わされました。

(北海道憲法共同センター「道憲法共同センターNEWS」56 号 7 月 22 日付から)

宮城 着払い署名はがき付つきチラシ作成 発議反対署名推進

みやぎ憲法九条の会はこのほど、改憲発議反対署名はがき付チラシを作成し、署名の推進を図っています。

表面では、「コロナ危機をのり越え、ともに生きよう世界の人々と。守ろう！命とくらし 戦争NO！」と、宮城県内九条の会連絡会が呼びかけ、安倍 9 条改憲案を紹介・批判しています。はがきの宛名面となっています。裏面では、『『どうする？コロナ対策』⇒『答えは憲法にあるよ！』』とわかりやすく解説。そして、署名欄があります。刷り込まれているはがきは、12 月 20 日までの受取人払いとなっており、みやぎ憲法九条の会が負担することになっています。

地域の九条の会での積極的な申し込みを呼びかけています。これまでに活用されたところから返信が始まっています。鶴ヶ谷地域九条の会は、世話人会が分担し地域などで配布しようと 2000 枚を取り寄せることを決めています。

(Eメールニュース「みやぎの九条」326 号 7 月 15 日付から)

東京 新宿西口 20 代青年も次つぎ署名

憲法 9 条壊すな！実行委員会街頭チームは 7 月 14 日夕、新宿駅西口で街頭宣伝をおこない、改憲発議に反対する緊急署名への協力を呼びかけました。行動には約 20 人が参加、プラカード宣伝、スピーチ、署名などに取り組みました。寄せられた署名は 1 時間で 35 でした。

中尾こずえさんは署名を訴え、18 の署名を得ました。中尾さんは、行動を通じ、署名する人たちがそれぞれ丁寧に静かに意思を表明しており、特に 20 代の男性が目立って多かったことが特徴だったと述べています。

東京 豊島区池袋で定例宣伝行動

憲法改悪に反対する東京共同センターは 7 月 22 日、池袋駅東口で定例宣伝を行いました。この日の行動には 7 団体から 10 人が参加しました。東京平和委員会、東京憲法会議の代表ら 4 人がスピーチし、チラシ入りティッシュ 50 枚を配布、署名はありませんでした。

同センターは 7 月 13 日、巣鴨駅、京成上野駅前、本郷 3 丁目で宣伝行動を行いました。

「コロナに乗じた緊急事態条項の憲法への書き込みや検察庁法『改正』案強行を世論が止めた。改憲よりいのちと暮らしを守るコロナ対策を。韓国は軍事費の一部を削りコロナ対策に充てている」などの宣伝カーからの訴えに、立ち止まり聞き入る市民もいました。

(憲法改悪に反対する東京共同センター「憲法ニュース」491号7月25日付、同490号7月16日付から)

大阪 改憲反対署名推進、世論と運動で政治変えよう 9の日行動から

大阪府下各地で7月9日、コロナ、災害下で、軍拡・改憲を進めようとする安倍政権を倒そうと呼びかける行動が取り組まれました。

東大阪市では東大阪市職労が月例の統一行動。7人が参加し、瓢箪山駅前で改憲発議反対署名を訴えました。寄せられた署名は15人分。次回8月の行動は若江岩田駅前の予定です。

西淀川区の戦争あかん！西淀川実行委員会は、JR塚本駅、御幣島駅、阪神千船駅、姫島駅の4つの駅前で宣伝・署名。合わせて12団体から28人が参加しました。改憲反対署名30人分、ヒバクシャ署名5人分が寄せられ、ピラ341枚が配布されました。

茨木市では平和憲法を守る茨木連絡会がJR茨木駅東口で宣伝・署名行動を行いました。13人が参加し、約100枚のピラを配布しました。

大阪府段階の行動としては7月10日、淀屋橋駅前に18人が参加し宣伝・署名行動を取り組みました。ピラ120枚が配布されました。

(大阪憲法会議・共同センター「平和憲法九条」556号7月15日付から)

大阪 アベ政治を終わらせよう！大阪総がかりに50人 19日行動から

大阪の19日行動が、大阪総がかり行動のパブリックビューイング・街頭宣伝行動をはじめ府下各地で取り組まれました。

なんば高島屋前では7月18日夕、**大阪総がかり19日行動**としてパブリックビューイング・街頭宣伝が50人超の参加で取り組まれました。ジャーナリストの西谷文和さん(九条の会おおさか呼びかけ人)が、PC画面を駆使して世界の気候変動から税制・安倍政治・維新・電通・吉本の関係や癒着などの問題を「憲法の視点から見る最新情勢」と題してパブリックビューイングで告発、長田譲さん(正念寺)、松本則子さん(人形劇団クラルテ)、戸井逸美さん(大阪府歯科保険医協会副理事長)らが訴えました。若者たちがパソコン画面に目を止めていました。

豊中市では19日、千里中央駅前で18人が参加して行動。発議反対署名22人を集め、ピラ250枚を配布しました。

羽曳野市では20日夕、**羽曳野総がかり**が行動しました。18日には**羽曳が丘九条の会**がスーパー前で行動、12人が参加し、14人の署名と70枚のピラを配布しました。

淀川区では18日、十三駅前で10人が行動し、19人の署名とピラ50枚を配布しました。

河内長野市では20日行動しました。15人の参加で署名11人分でした。

豊能では20日、**ときわ台スタンディング**が取り組まれ、7人が参加しました。テーブルに置いたピラは60枚が受け取られました。

このほか、**堺市**では17日、**藤井寺市**では19日に藤井寺駅前で、**熊取**では19日に駅宣伝が行われました。

(大阪憲法会議・共同センター「平和憲法九条」557号7月22日付から)

兵庫 尼崎共同行動が5ヵ月ぶりの街宣行動

尼崎共同行動は7月19日、尼崎Qズモール前で「アベ9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけました。行動には24人が参加、2人の飛び入りのスピーチも含め12人がリレートークで訴えました。寄せられた署名は25でした。

2月8日に行った講演会(講演＝菱山南帆子さん)以来5ヵ月ぶりで、フェイスシールド、消毒などの感染対策を講じた行動となりました。

尼崎共同行動は、9月19日には安保関連法＝戦争法強行採決5年目の講演会を企画しています。

(尼崎共同行動・大江さんによるメール通信から)

兵庫 神戸市内 9 区の活動再開を交流、総選挙もにらみ決意

毎月定例でおこなわれている神戸市内 9 区の憲法共同センター交流会議が 7 月 4 日開かれ、①憲法が生きる社会へ、特にコロナ対策にこそ憲法を生かそう、②どさくさまぎれの改憲策動をストップさせる、そのために改憲発議反対署名（＝安倍改憲ピリオド署名）を推進しよう、③地域ごとに多様な要求実現へ向けた共同を、総選挙もにらんで強化しよう、との当面の運動の方向を意思統一しました。各区の共同センターの状況は次のとおりです。

東灘区では、6 月から街頭行動などを再開。6 月 29 日からはスタンディングだけでなく、署名もと行動。青年や女性のピウの受け取り、署名も多く、関心の度合いの変化を実感した。九条の会や市民アクションの行動でも同じ傾向を確認。8 月には総会を開き飛躍を図る。

灘区では、**オール灘区の会**が全面的に行動展開。机を出し、改憲発議反対署名を始め、何種類かの署名を並べて訴えたところ好評。リレースピーチを聞いて通り過ぎたが戻って署名する青年の集団の姿もあった。

中央区では、7 月 3 日の「3 の日」行動はあいにくの雨だったが、200 回記念の行動として横断幕 3 枚を並べてスタンディングとスピーチを行い、評判になった。

兵庫区では、自衛隊への青年の名簿提供問題で、「個人情報渡さない兵庫区民の会」が署名活動を開始、個人のプライバシーと憲法 9 条との関係で訴え。コロナ問題で小学校の 20 人学級問題が浮上している。

長田区では、行動を再開している。新婦人の会の長田神社での行動では、机を出し署名用紙を置き、ボールペンの消毒をしながら取り組んだ。好評だった。

須磨区では、6 月に 249 の発議反対署名が集まり会議に持参した。神戸市による自衛隊への電子データの提供問題をひろげることが急務となっている。

垂水区では、区内 6 ヲ所で自衛隊名簿問題の街頭署名行動を進めている。

西区では、5 月からスタンディングを軸に様々な行動を再開している。署名は各団体とも仕切り直して進めるようにしている。7 月 19 日に総会を開き飛躍させる。

（憲法共同センター「憲法共同センターニュース」331 号 7 月 10 日付から）